

第2回可児市地域公共交通協議会 議事要点録

日時 平成26年3月19日(水)

午前9時30分～午前11時00分

場所：可児市役所4階第1会議室

出席者：(委員) ※50音順：敬称略

加納 正佳 木村 治史 小山 幸男 佐々木 透 佐橋 雅喜 澤田 幸博
品川 滉彦 柄川 敏 林 則夫 林 美由樹 門間 實 溝口 明宏
横田 賢二 若林 拓史 山本 豊 鷺見 真人(代理 佐藤係長)

(事務局)

総合政策課長 牛江 宏 総合政策係長 河地 直樹 企画統計係長 飯田 好晴
企画統計係主任 渡邊 真史 総合政策係主事 伊藤 佑治

欠席者：桑下 和弘 松田 勲 堀 博幸

1. あいさつ

会長が開会を宣した。

(異動等により変更になった委員の紹介)

会長から新しく委員になった1名(鷺見真人委員)を委嘱し、氏名を読み上げて紹介した。

(議事録署名者の指名)

会長から議事録署名者として、木村治史委員と佐々木透委員を指名した。

(傍聴者に対する資料配布の取り扱いについて)

会長から、傍聴者へ配布した資料は回収しないことに協議会の決定事項を変更する旨説明し、委員の賛同を得た。

2. 《報告事項》可児市自主運行バス再編後の利用者数等の状況について

事務局が資料1に基づき、市自主運行バス再編後の利用者数等の報告を行った。

○委員 身体障がい者と高齢者との交流会を行った際、市役所の乗降場所を総合会館の横ではなく、市役所の入り口までいけないかとの意見がたくさん出た。下の停留所から市役所まで坂があるなどするため、介護が必要な方にとっては危険があると思う。バス停を新たに設置してほしいという意見ではなく、市役所の玄関を回ってもらえるだけでよい。

○事務局 貴重なご意見として承る。電話で予約バスは柔軟な対応ができると思うが、さつきバスについては、乗り継ぎ停留所にしている関係もあり、市役所の玄関で停留することができないため安全対策も必要になる。時間をいただき検討させていただきたい。またその報告は改めてさせていただく。

○委員 中央通りのバス停など、バス停の場所や利用方法を知らない人も多い。市には受身の対応ではなく、積極的なPRをしていただきたい。利用方法が分からないため、あきらめている人もいると思う。

○事務局 PRの方法についてはみなさまに利用をしやすいイメージを持っていただけるよう努力していく。

○委員 利用者数の減少要因について、バス停の廃止が原因との説明があったが、原因が分かっているのなら、もとに戻すことはできないのか。また、利用者からの意見についてネガティブな意見の紹介があったが、いい意見はなかったのかを伺いたい。またさつきバスだけでなく電話で予約バスに対する利用者意見があれば教えていただきたい。

○事務局 例えば西部線の鳴子については、さつきバスのバス停は廃止としたが、電話で予約バスに変更をさせていただいた。資料ではさつきバスの路線の減少要因を示しており、バス停がまったくなくなったのではなく、電話で予約バスで対応しているのでご理解いただきたい。

「乗りやすくなった」などのポジティブな意見もいただいているが少数である。資料の中でそのような紹介ができていなかったことについてはお詫び申し上げます。

電話で予約バスのご意見については今のところいただけていない。一部の地域から、アーラや福祉センターにいけないという要望は以前からいただいているので、今後も検討していかなければいけない課題だと思っている。

○委員 さつきバスについて利用者が減っていると説明があったが、さつきバスと電話で予約バスの合計の利用人数は増えているのか。

○事務局 全体で見ると利用者数は増えている。再編を契機にした増減はまだこれから検証が必要である。

○委員 電話で予約バスについて、オペレーターの対応が非常に良かった。しかし市民に対し、その周知があまりできていないのではないかと思う。「困ったときはここに電話をしてください」などといったPRをもう少しするべきだと思う。

○事務局 非常にありがたいことで、事業者の方も丁寧に対応していただいていることに感謝申し上げます。広く周知をしていけるよう努力をしているが、限定的な市民に向けてのPR方法については今後もみなさまのお知恵をいただきたい。

○会長 電話をかけることに抵抗がある方も多と思う。大変いいというPRは口コミで広めていくことが効果的だと思うのでいろいろな機会を通じて広めていただきたい。

○委員 電話で予約バスが便利であると評判である。さつきバスに関しては乗り継ぎについて、乗り継ぎ時間が30分から40分あるととても大変であるため、せめて待ち時間が10分から15分くらいにしていだけるようダイヤの見直しをお願いしたい。

○事務局 慢性的に遅れがでてしまう路線もあるため、非常に難しいところではある。待ち時間の適正については今後も考えていかなければいけないが、電車のように2、3分での乗り換えは難しいのでご理解いただきたい。

○委員 さつきバスの「村木停留所」と電話で予約バスの「東可児病院停留所」について、同じ位置にバス停があるがなぜバス停名を分けているのか伺いたい。

○事務局 道路上にあるさつきバスの停留所については「村木」、病院の敷地内まで入ることができている電話で予約バスの停留所はバス停名を「東可児病院」としている。これは継続的な課題だと認識している。貴重なご意見としていただく。

○委員 電話で予約バスの電話番号が分かりにくいと意見があったが、冷蔵庫に貼れるようなものを作るといいと思う。

さつきバスについて収入は増えたが利用者が減ったということは、利用者のニーズに合っていないということだと思う。乗客数がもともと少ないので、一人でも逃さないようにするべきである。何が便利になって何が不便になったのかを分析して、ニーズに合ったダイヤにしたほうがよい。循環ではなく渦巻き状にしたほうが乗換をせず移動が可能になると思う。

○事務局 パンフレットの工夫については、議論をしていきたい。乗換を少なくして目的地まで行きたいという意見はみなさまから出ている。どのように運行をしていくべきかはまた先生のお力添えを戴きながら考えていきたいと考えている。

○委員 資料にさつきバスの前年同月の比較がしてあるが、全体の利用者数の増減もはっきりと分かるように電話で予約バスの比較もあればよかったと感じた。

今後は各地区でのワークショップなどの予定はないか。

○事務局 数値については、今後はしっかりと明記をしていきたい。

再編に際して各地区において懇談会を開催したが、直接、利用者への説明をする機会を作ることが難しいと感じているが、皆様からのご意見をいただきながら対応していきたい。

○委員 やさしさが大切だと思う。可児市が掲げるキャッチフレーズにもつながっていくと思う。

○委員 さつきバスへネーミングライツを導入し、少しでも補助金を減らす努力をした方がよいのではないか。

○事務局 さつきバスそのものの名前を変えることについては、もう少し検討がいると思うが、車内外について広告を募集し、そちらの収入は得ている。

○委員 電話で予約バスについては、市民に定着していると思う。なので、名前を「バラタクシー」などといった名前に変えて啓発をしていくべきだと思う。

また携帯できる診察券のようなカードサイズのチラシが分かりやすいと思う。広告を入れれば経費も安くできると思う。

可児市のバラタクシーと言えれば電話で予約をするタクシーのことだとなるよう周知徹底をしていただきたい。

2. さつきバス利用促進策の実施について

事務局が資料2に基づいて平成25年10月26日に実施したさつきバス無料DAYについて報告を行った。

【質疑なし】

3. 名鉄広見線について

事務局が資料3に基づき、名鉄広見線の利用者の状況と名鉄広見線活性化協議会の取組みについて、報告を行った。

○委員 活性化協議会の最初からのメンバーの一人である。

東濃実業高校や東濃高校に魅力的な学科を作れば生徒も増え、名鉄広見線の利用者も増えるのではないか。また、リニアのルートも決まったため名鉄広見線を中津川まで延長するのもよい。また、昔のよう

に御嵩にマツタケを生やすこともよいと思う。その中でもすぐに実行できるのは、高校の学科の新設だと思う。

電車をバスに変更するのは物理的に不可能であり、高校生の移動手段をなくすことは避けなければならない。

○委員 鉄道事業者として社会的使命も認識している。名鉄広見線については依然厳しい状況が続いているが、可能な限り努力をし、利用促進に努めていきたいと思う。

5. 閉会

会長から、本日の協議結果について非公開にする部分はないことの確認があり閉会した。

前記のとおり会議の議事要点を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成 26 年 4 月 8 日

署名委員 木村 治史

署名委員 佐々木 透
